

# 2022 2&3 ミニバイク耐久レース規則書

## 1. 主催 / 開催協力 / 特別協力

MTR-Office / マイスタークラブ / はっぴいえんどプロジェクト

## 2. 開催場所 / 開催日時

岡山国際サーキットミニコース / 2022.7.17 (日)

## 3. 開催レース

エンジョイ 2 時間耐久 [ 初心者向け ] スクーター 2 時間耐久 カブ 2 時間耐久
M クラス
SP クラス
GROM クラス
カブクラス
スクーター 4st50 クラス

ミニバイク 3 時間耐久 [ 中級者・上級者 ]
M クラス
SP クラス
GROM クラス

## 4. 参加定員

2 時間耐久、3 時間耐久共に 30 チームまでとする。

## 5. 申込方法

松岡玲 motoBlog のお申込みフォームからお申し込み下さい。

当日エントリーは一切行いません。

※お申込み時にご記入頂いた個人情報の取り扱いについては、当レース運営の為にのみ使用致します。

## 6. 参加費

エンジョイ耐久・スクーター耐久・カブ耐久 (2 時間耐久)

1 チーム / 2 名 15,000 円 (税込)

3 名以上の場合、1 人につき 3,000 円 (税込) プラスとします。

ミニバイク耐久 (3 時間耐久)

1 チーム / 3 名 20,000 円 (税込)

4 名以上の場合、1 人につき 3,000 円 (税込) プラスとします。

## 7. 賞典

各クラス、1 位から 3 位

# 注意事項

## 1. イベントに関する記載

原則雨天の場合でも開催します。

ただし、以下の場合は中止する事がございます。

- ① 豪雨、暴風、等で走行に安全が保たれないと主催者が判断した場合
- ② 施設の都合により走行が不能になった場合
- ④ その他やむを得ない事態が発生した場合には事務手数料¥1,000を差し引いてご返金致します。

それ以外の損害の補償は一切できないことをご了承下さい。

不測の事態が発生した場合、メール、電話にてご連絡致します。

## 2. 感染症対策について

基本的な感染防止対策の徹底を心掛けて下さい。

## 3. 写真や動画の肖像権の取り扱いについて

イベント開催中、主催者並びにカメラマンが撮影した画像、動画はSNS、YouTubeなどで使用する事があります。

## 4. 保険に関して

転倒によるお怪我に対する保険はございませんので、各自でご加入をお願い致します。

※注意事項と同意書を必ずお読みの上ご理解頂けましたら同意書を印刷、署名捺印し当日受付までご持参下さい。

## 5. トランスポンダー（自動計測装置）

トランスポンダーは、受付後貸出致します。速やかに車両に装着すること。

各耐久レース終了後、速やかに受付へ返却すること。

## 6. 車両検査

参加車両の検査は、各ピットにスタッフが行き検査を行う。レギュレーションはALL JAPAN MINIBIKE RACE、カブ耐久車両規則に準ずる。

アンダーカウルのみ外しておくこと。

## 7. ライダー装備品検査について

- ①レーシングスーツ
- ②ヘルメット
- ③ヘルメットリムーバー
- ④グローブ
- ⑤ブーツ
- ⑥脊椎パッド
- ⑦チェストガード

装備品検査は行いません。各自装備品は必ずチェックすること。

## 8. 燃料補給器

ポリタンク、プラスチック製容器は使用出来ません。

給油装置は消防法に適合した、20ℓ以下の耐圧金属製携行缶を使用、もしくは耐圧金属製のクイックチャージャーを使用する事。

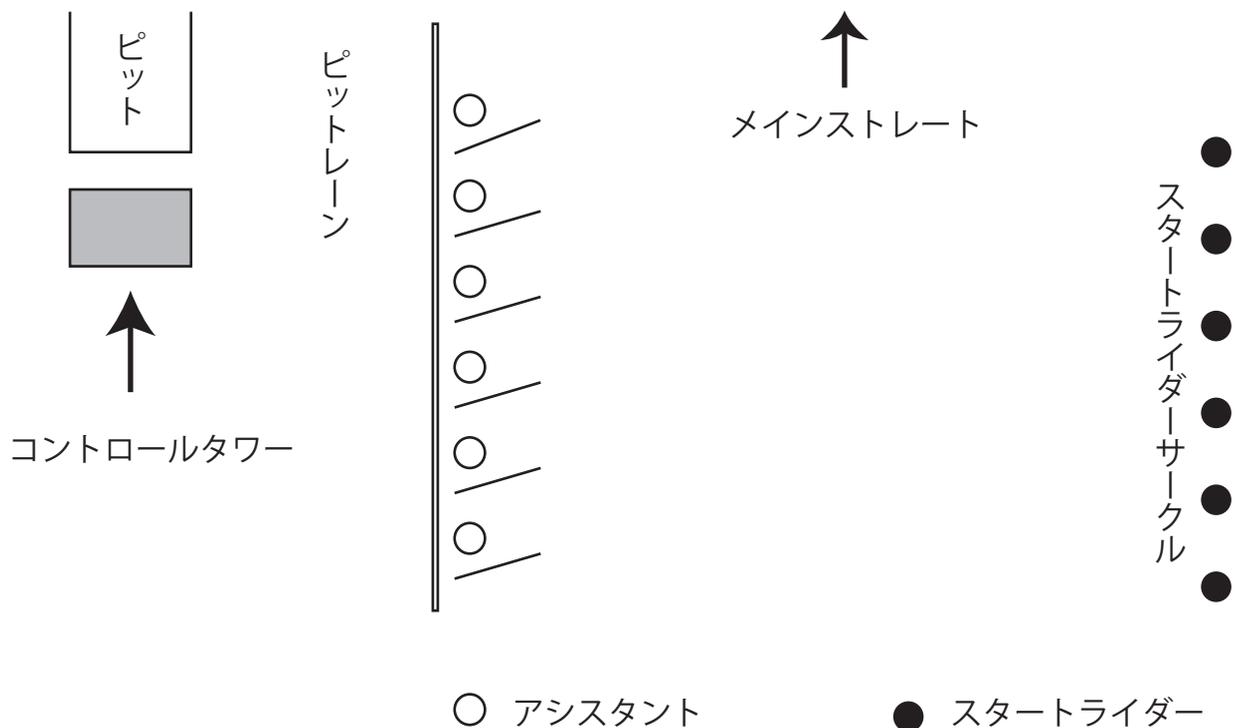
## 9. 予選

- ①予選時間内であれば、チームのライダー全員がタイムトライアル可能。
- ②予選開始前にウエイティングエリアに並び、オフィシャルの指示に従いコースインすること。
- ③ピットインする場合、コントロールタワー前のコーンからピット出口コーンまではエンジン停止作業エリア内でライダー交代すること。
- ④簡易的な車両修復作業以外は、必ず各自のピット内に車両を搬入し修復作業をおこなうこと。
- ⑤予選タイムトライアル終了の合図はチェッカーフラッグを掲示する。
- ⑥チェッカーフラッグ掲示後、ピットレーン出口は封鎖される。
- ⑦ベストタイム順にグリッドは決定する。  
公式グリッドはミニコースコントロールタワーに貼り出しする。
- ⑧トラブル等によりタイムトライアル未計測のチームは最後尾からのスタートとする。
- ⑨タイヤは予選・決勝（ドライ・レイン共、使用数量無制限）

## 10. 決勝

- ①スタート方式は、ルマン式スタートとする。

### ルマン式グリッド図



※ 車両を支えるアシスタントはスタート時の安全管理上1台に対し1名のみとし、

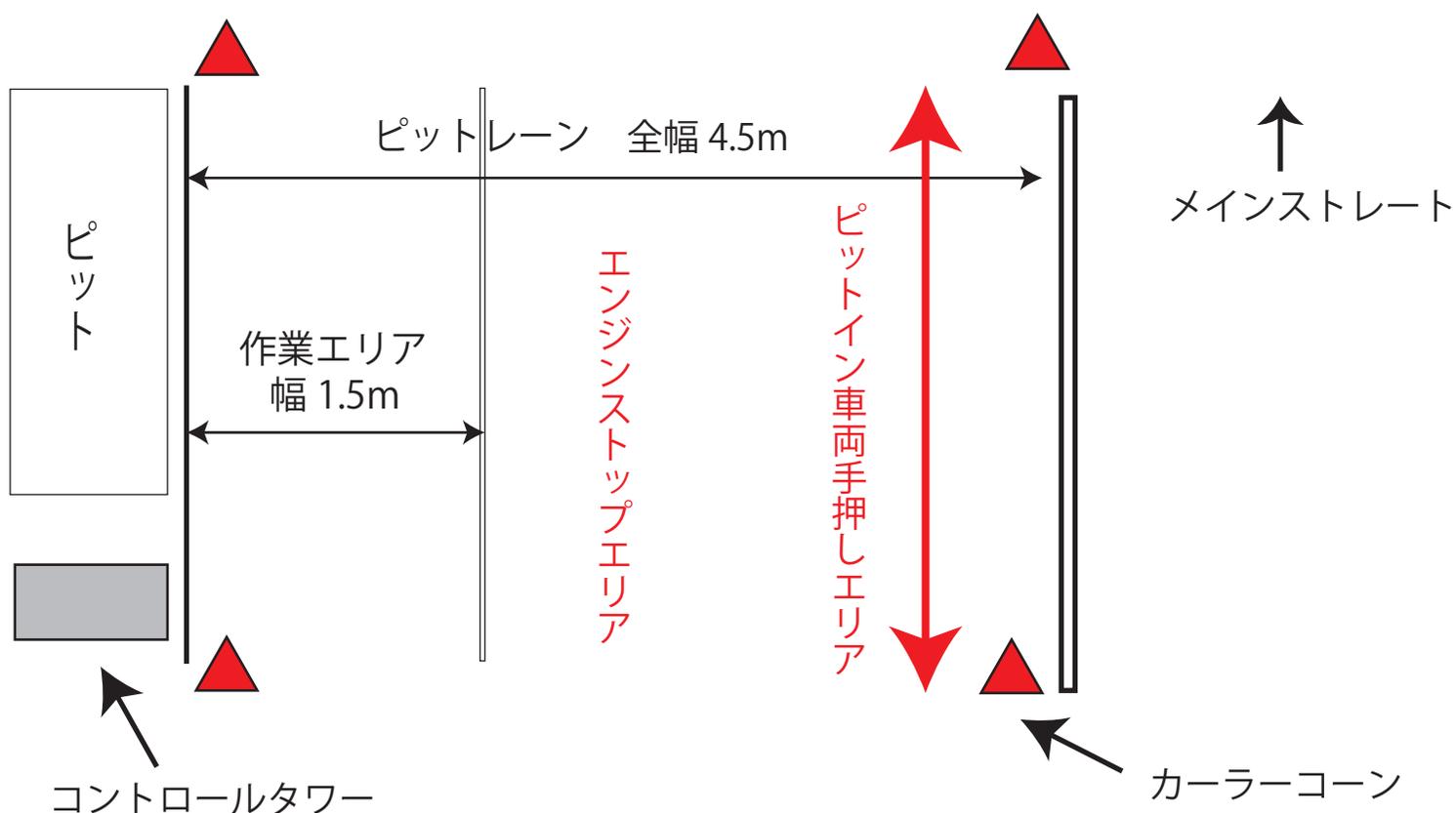
アシスタントはレーシングスーツ以外でも可能。

- ②決勝レースに出走する全ての車両は、ウエイティングエリアからオフィシャルの指示に従いサイティングラップを行い各自のスターティンググリッドに付くこと。  
ライダーは速やかにスタートライダーサークルに移動すること。
- ③エンジンスタートは、スタート1分前にエンジン始動、アシスタントライダーがスタートまでマシンを支えておくこと。
- ④スタート30秒前までエンジンがかからない場合は（アイドリングしない車両）スタート後再始動を行う。
- ⑤エンジンが始動しない場合はピットに戻りメカニックの作業後、再スタート。
- ⑥スタートはクラッチスタートのみとする。アシスタントが車両を押ししてスタート&押しかけスタートはペナルティー対象とする。

## 11. ピット作業

- ①ピットインする場合、コントロールタワー前のコーンからピット出口コーンまではエンジンストップ、ライダーが手押しで各自のピット前に戻ること。
- ②ピットイン時には、オフィシャルがホイッスルを鳴らすので、最大限に注意すること。
- ③ピットから 1.5m 以内を給油作業エリアとし、ライダー交代をおこなうこと。  
給油中、修復中ライダーは車両に乗ってはならない。  
簡易的な車両修復作業以外は、必ず各自のピット内に車両を搬入し修復作業をおこなうこと。
- ④ピットアウト時は、ピット出口のコーンの場所でエンジンスタートすること。
- ⑤ピットイン、給油作業時オフィシャルが消火器を持って待機する。

ピットレーン図



## 12. 予選・決勝中の遵守事項

- ①予選、決勝中サインボードを出す場合のみ 1 チーム 1 名のみピットレーンに出て良いものとする。
- ②登録以外のライダーが走行した場合、登録以外の車両で走行した場合失格とする。
- ③リタイヤする場合は必ずオフィシャルに伝えなければならない。
- ④走行に支障がある車両、破損により他走行車両が危険に晒される場合、危険な走行、行為をするライダーには、ブラックフラッグを提示する。  
ブラックフラッグとゼッケン No が書かれたボードを提示された車両、ライダーは速やかにピットインし、オフィシャルの指示に従わなければならない。オイル漏れ等の場合は速やかに安全な場所に停止すること。  
場合によりペナルティーを与える。
- ⑤ペナルティーストップ時のライダー交代は可能
- ⑥熱中症対策として 30 分に一度、ライダー交代を強く推奨する。規定連続走行時間は設けないものとする。

## 13. 競技の中断

レースの続行が危険と判断された場合、赤旗を掲示してただちにレースを中断する。

赤旗を掲示する場合

- ・赤旗、レッドシグナルはコントロール前マーシャルポストで掲示される。
- ・競技が中断された場合、ライダーは最大限の慎重さと注意を持ってピットインしなければならない。
- ・追い越しはペナルティー対象とする。
- ・競技が中断された場合、各車両はピットイン順にピットレーンに停車し、放送もしくはオフィシャルからの伝達による連絡があるまで待機しておかなければならない。
- ・5分以上中断の場合、タイヤウォーマー使用可能。
- ・赤旗中断時のライダー交代は可能

### 2. セーフティーバイク導入

競技再開時、ピットレーン出口からセーフティーバイクが先導する。

セーフティーバイク先導時は1列の隊列でスロー走行する（追い越し禁止）。

車列が整い次第セーフティーバイクがスロー走行解除、ピットアウトする。

セーフティーバイクがピットアウトした後、競技車両はゴールラインからレース再開する。

ゴールラインまでは、追い越し禁止とする。

## 14. レース終了

- ①レース終了の合図（チェッカーフラッグ）は規定の時間が終了した時点で先頭車両が最初にコントロールラインを通過する時に掲示される。
- ②チェッカーフラッグが掲示された時点でピットレーン出口は閉鎖される。
- ③チェッカーフラッグを受けられない者はリタイヤとみなす。

## 15. レース後の再車検

入賞車両の再車検はありませんが、場合により行うことがある。その際は速やかにオフィシャルの指示に従うこと。

車両違反が発覚した場合、失格とする。

レース終了後約10分間、各クラス上位3チームまではコース上で車両を展示・撮影等可能（希望チームのみ）

オフィシャルの指示に従うこと。

## 16. 主催者の権限

主催者は次の権限を有するものとする。

- ①申込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者・ライダーを選択あるいは参加拒否することができる。
- ②すべての参加者・ライダー及び参加車両の音声・写真・映像などの放送・放映・SNS等に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。
- ③以下の場合にチームの参加を拒否する事ができる。
  - 1) 競技者における秩序を無視して混乱を引き起こした者
  - 2) レースが自己責任の前提で成り立つ事を理解承認できない者
  - 3) 自己を反省することなく、人の過失ばかりを主張する者
  - 4) 暴力行為等を含め周囲に対して脅威を与えた者
  - 5) スポーツマンとしてふさわしくない発言・行動をくり返す者